文部科学省2021年
総合職入省案内

１年目職員からのメッセージ（全文版）

※所属局課室は2020年1月現在のものです。

※執筆した職員個人の意見であり、文部科学省としての統一見解ではありません。

【質問項目】

１．文部科学省を選んだ理由

２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと

４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

○大臣官房人事課（教養）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．一人ひとりの子供たちが自分の夢や目標をもって自己実現できるような教育環境をつくることが、日本の未来にとって非常に重要だと考え、教育の道を志しました。
文化・スポーツ・科学技術など、人の成長に様々な方向から携われることも魅力に感じ、文部科学省を選びました。

２．優しくて心のあたたかい先輩方が多く、なんでも気軽に相談しやすい職場です。若手職員を丁寧に育成してくださる上司にも恵まれ、毎日多くのことを勉強させていただいています。
また、悩んだ時には同期で支え合える、とても素敵な環境だと感じています。

３．子供たちが、自分なりの夢や目標に向かって努力できるような環境をつくりたいと考えています。
それぞれの個性や能力を様々な分野で開花させられるように、教育の機会・質の均等や、子供の自己肯定感の向上、キャリア教育の拡充など、様々な方向からアプローチしたいと思っています。

４．文部科学省の仕事は、数年後もしくは数十年後の未来の日本をつくることです。
教育・文化・スポーツ・科学技術、それぞれのアプローチからどんな日本の社会をつくれるのか、そしてつくりたいのか、という熱い想いをぜひ文部科学省へぶつけにいらしてください。

○大臣官房総務課（経済）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．日本社会が豊かになる一方で、日本人の心は豊かなのか疑問に思いました。具体的に言えば、「生きる希望」を持って前向きに生きることができている若者はどれくらいいるだろうかと思いました。
そこで、教育・文化・スポーツ・科学技術という人の価値観や人格形成に大きく関わる施策に関わり、「生きる希望」を自ら見つけ、前向きに生きていくことができる人を増やしたいと思い入省しました。

２．人を対象とする省庁だからこそ、人の成長を応援してくれる雰囲気があります。上司たちは、新人に対しても立派な行政官となることができるよう、時には厳しく指導し、時には優しく見守ってくれています。

３．すべての子供たちが、自分の個性に気づき、自分の個性を生かして、自らの選択に基づいた人生を前向きに歩むことができる社会にしたいです。

４．文部科学省は、想像よりもはるかにやりがいのある仕事ができる場です。自分の力を最大限に発揮しながら、理想の社会の実現に向けて、信頼できる上司と共に仕事ができるという環境はなかなかないと思います。

○大臣官房政策課（人間科学）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．文部科学行政の未来志向な点に惹かれ選びました。「教育は国家百年の計」という言葉のとおり、文部科学省の仕事は１００年先の将来の対して責任を持つ仕事だと思います。予測不可能と言われる社会だからこそ、教育を通じて未来を創造していくチャレンジをしたいと思いました。

２．「人を育てる」行政府に相応しく、上司の方々も先輩方も非常に温かく不慣れなことばかりの私にも懇切丁寧に相談に乗ってくださいます。業務は常に真剣勝負ですが、時に冗談も言いながら笑いの絶えない職場です。

３．大学時代は世界各国を旅して海外の教育事例を研究してきました。文部科学省でも「教育の外交官」になる気概で、世界各国から教育を良くするための知恵をかき集めて母国に持ち帰り、教育政策に活かしていきたいと考えています。

４．就職先を決めるのは人生において大きな決断であり、悩みも多いと思います。そんな時には是非文部科学省の職員とお話をしに来てください。悩みや不安に熱く答えてくれる職員が皆さんをお待ちしています！

○大臣官房政策課政策推進室（数理科学・物理・地球科学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．文部科学省では教育・文化・スポーツ・科学技術と多岐に亘る行政分野を所管していますが、そのすべてが過去、現在そして未来の日本をつなぎ形成する重要な役割を果たしており、魅力的に感じております。

２．１年目から様々な企画に挑戦させていただいており、自身の主義主張も上司や同僚に屈託なく進言できるため、非常に風通しの良い職場環境だと感じています。課室単位で毎週ランチ会もやっています。

３．昨今の日本では主要先進国と比し、特に若手研究者の研究環境が悪く研究成果にも後退傾向が現れつつあります。日本を科学技術大国として返り咲かせるため、高等教育や研究現場を変える政策を打ち出したいです。

４．急速な少子高齢化やAI技術の躍進により、日本は未曽有の社会変革期にありますが、そんな予測が難しい未来を担う子供たちや科学技術を支援したいと思う熱い気持ちをお持ちの方々をお待ちしております。

○大臣官房国際課（法律）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 私には「沢山の人に支えられ、教えられて今がある」という強い想いがあります。教育行政に携わることで教育の質の向上に貢献できれば、支えて下さった方々への恩返しもできると考え、文部科学省を志望しました。

２． 所属の課で扱う内容は海外と関わりのある案件が多く、英語が飛び交うこともあります。社交的で人間的魅力のある先輩方の中には、海外経験が豊富な方や旅行好きの方も多く、明るく和気藹々とした中で日々働いています。

３． 日本型教育の抱える課題を把握・改善し、時代のニーズに即応して日本が世界の教育界の模範とされるよう政策を立案したいと考えています。また、国際社会における日本のプレゼンス向上に貢献したいと考えます。

４． 文部科学省は所掌分野が広いため、自身が関わった仕事が報道されることも多く、日々やりがいを感じつつ仕事のできる省庁だと感じています。実現したい目標のある方、ぜひ一緒に働きましょう！お待ちしています。

○総合教育政策局教育人材政策課
教員免許企画室（法律）

１．文部科学省を選んだ理由
２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと
４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 教育は目標を見つけ、目標に挑戦する場だと考えており、この教育をよりよくすることにより全ての人が目標を持ち、目標に挑戦し続けられる社会を作り出せると考えました。

２． 上司にも相談等がしやすい環境で、入省前の印象以上にフラットな職場です。また、フラットなだけではなく、今後の成長ために指摘もいただけるので、非常に働きやすく、成長できる職場だと感じています。

３． 文部科学省を選んだ理由と同じですが、教育の力を活用して全ての人が目標を持ち、目標に挑戦し続けられる社会を作り上げていきたいと思います。

４． 私たちのメッセージを見て、文部科学省への思いを強くしてもらえると非常に嬉しいです。文部科学省を目指す皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

○初等中等教育局財務課（法律）

１．文部科学省を選んだ理由
２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと
４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．未来を創っていくうえでとても大事な、子供たちの力を育てていくことのできる、「教育」という分野で、日本全体に影響を与えられる文部科学省の仕事に魅力を感じ、文部科学省で働きたいと考えました。

２．教育関係の事務を所掌する部署にいますが、現場の教育への熱意にあふれた職場です。緊張感とリラックスした雰囲気が適度に両立した、メリハリのある場所だと思います。諸先輩方も非常に頼りになるので、とても楽しく働かせてもらっています。

３．子供たちが一人ひとりが、自分が得意なことを見つけて、長所を伸ばして、それを社会に出た時に存分に発揮して力強く生きていける、将来やりたいことと学んだことがマッチするような教育の在り方を実現したいと思っています。

４．文部科学省では、沢山のミッションがあるので、知らないことに出会う毎日です。その分大変なこともあるけれど、成長を感じられる場所だと思います。皆さんと同じ場所で、一緒に成長していける日が来るのを心待ちにしています！

○初等中等教育局財務課
修学支援プロジェクトチーム（教養）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 子供の貧困等について関心があり、文部科学省であれば、単に財政的な手法に限られない多角的なアプローチによって教育機会の均等に寄与できると考えたためです。

２． 新入職員だからといって甘やかしたりはしない、程よい緊張感に満ちた職場だと思います。
あらゆる案件について100％の完成度を求められる環境の中で、日々自身の成長を実感しています。

３． 自分自身、実家があまり裕福ではなかったので、誰もが生まれ育った環境にかかわらず、各々のペースで自己実現できる社会が理想だと考えています。文部科学省の様々な教育分野にかかわっていく中で、そうした社会の実現に向けて少しずつでも寄与していければと思います。

４． 文部科学省の政策の多くは、その成否によって人々の人生を大きく左右してしまうものばかりです。そのぶん、責任は重大ですが、それだけやりがいに満ちた仕事が溢れている、ということでもあります。同じやりがいを感じながら、一緒に頑張れる人にぜひ来てもらえれば、と思います。

○初等中等教育局教育課程課
教育課程企画室（法律）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．一人ひとりが自分らしく生きることができる社会を創りたいと思い、文部科学省を選びました。自己実現し続けるためには、自ら持続的に学び続ける力を身に付けることが必要不可欠であり、そのような人づくりに携わることが出来るのは、教育行政を担う文部科学省しかないと思いました。

２．私が所属している教育課程課は、まさに「職員室」のような職場です。学習指導要領を所管しているだけに課内で飛び交う単語は教科・科目の名称ですし、実際に教員の方々も一緒に働いています。学校をとても近くに感じることの出来る楽しい職場です。

３．国際教育を更に充実させていくことです。国や文化に関係なく人は皆違っています。違いを受け入れ、共に生きる姿勢を育むことに、国際教育の本質があると思います。一人でも多くの子供たちに、国際教育を通じて素晴らしい体験をしてもらいたいです。

４．文部科学省でしか経験できないことや実現できないことが、本当にたくさんあると思います。皆さんの目の前にあるたくさんの選択肢の１つに「文部科学省」があるならば、とても嬉しく思います。

○初等中等教育局児童生徒課（法律）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 教員だった母に憧れ、初めは教員になりたいと考えていたのですが、母の働く姿を目の当たりにするうち、現場で働く教員の方々を支える立場で日本の教育に貢献したいと思うようになり、文部科学省を選びました。

２． 職場には穏やかで優しい職員が多く、一年目で右も左も分からない私のことも温かく受け入れてくださっています。また、先輩に分からないことは何でも聞くことができ、上司からも信頼して仕事を任せていただけるので、充実した職業生活を送っています。

３． 初等中等教育行政の中でもいじめ対策や教員の働き方改革に関心があります。いじめ対策については、幸運にも所管部署へ配属されたため、大学時代から構想していた統括的ないじめ予防教育のプログラムの現場への普及などを実現したいと考えています。

４． 私自身は国という大きな舞台で自分のやりたいことを実現したいと思い、文部科学省を目指しましたが、この職場ではまさにそれが実現できると思います。文部科学省を目指す過程は嶮路ですが、人生は一度きりなので、一番納得のできる進路を掴み取ってください。応援しています！

○初等中等教育局幼児教育課
（人間科学（院卒））

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．私たちが生きる21世紀は、技術革新と社会構造の変化の真っただ中にある、とてもダイナミックな時代だと思います。そうした時代背景の中で、個人と国が成熟していくための礎となる教育制度を作ることに携わりたいと思いました。

２．上司や同僚とお互いを支え合い、大きな仕事をしていこうという気概の根付いた職場だと思います。国の制度を支えるというのは大変な忍耐のいる仕事ですが、私たちは決して1人で仕事をしているわけではありません。

３．これからの時代は、教育の目的や方法が益々多様になっていくと思います。抽象的な表現ですが、そうした時代における実質的な教育権の保証の意味と具体的な施策について考え続け、政策として形にしていきたいと思います。

４．文部科学省が所管する教育・科学技術・文化・スポーツはどれをとっても、自らの想像を超える様々な可能性に満ちている分野だと思います。文部科学省に関心を持っていただいた皆さんには、ぜひその現実の奥深さと変化を楽しめる人であってほしいと思います。

○初等中等教育局教科書課（法律）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気

３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．教育はもちろん、科学技術、文化、スポーツ、全ての分野を通じて、人が夢を持つきっかけを作り、夢をかなえるチャンスを提供し、実現した先で行動するための力を育てることができると思ったからです。

２．私が今いる職場は非常に女性が多いので、常に和気あいあいとしています。まじめに仕事をしながらも、雑談でほっと息をつけるのは、ありがたいなと感じています。

３．人の人生に関わる仕事である以上、自分の人生も豊かなものであり続けたいと思っています。目の前の仕事だけ、自分の立場だけに縛られず、視座を高めていきたいです。

４．人の生涯にあらゆる角度から携われることは本当に魅力的だと思います。多方面に好奇心を持っている方にとってはとても楽しい職場ではないでしょうか。皆様とお会いできる日を楽しみにしております！

○科学技術・学術政策局政策課（数理科学・物理・地球科学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．科学技術の更なる発展は、今後日本が、そして世界がさらに豊かになるためのカギであり、応用研究のみならず基礎研究も幅広く推進していくことが求められます。
私はどの領域の基礎科学研究についても、効率よく、そして満足に遂行される環境づくりが重要であると考えており、これを行政の観点から推進したいと考え、文部科学省という進路を選択しました。

２．明るい人柄でありながら冷静にものを考える人が多いのが特徴だと思います。
何か判断に困ったときにも、いろいろな方に気楽に相談しやすく、とてもフレンドリーな環境だと感じています。

３．今後さらに基礎科学研究を推進するにあたり必要なことは、実は各研究領域・分野において多様なものです。
私はただ政策に関するプロになるだけでなく、このような各研究領域・分野における環境をもっと深く理解した上で政策を組み立てることで、日本の科学技術が更なる高みに届くよう貢献したいと考えております。

４．文部科学省の活動の根底には、「人を大切にする」という共通のモットーがあるように思います。
教育でも科学技術でも文化でもスポーツでも、これらにアプローチする上ではとにかく「人」から、とお考えの方は、ぜひとも弊省の門を叩いてみてください。

○科学技術・学術政策局政策課
国際戦略室（化学・生物・薬学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．私自身が博士課程で研究に取り組んでいた経験から、日本の科学技術振興の基礎作りや、科学の最先端を牽引する研究者のサポートに国の中枢から携わりたいと考え、文部科学省を選びました。

２．国家公務員がイメージされがちな堅さはなく、みんな闊達に議論をしながらのびのび仕事をしています。自分の部署外の人とも付き合いが多く、自分の興味次第でいろんな情報が手に入るので、非常に勉強になります。

３．研究者がかっこいい職業であるような社会を作りたいと思っています。そのためには若手研究者の支援をより強化すること、研究者の魅力を発信すること等が必要で、そういった研究現場と社会の橋渡しを促進したいです。

４．文部科学省は、所掌も多岐にわたり、色んな人と関われて広い視野を身につけられる職場です。何かやり遂げたい仕事がある人も、そういった仕事を見つけたい人も、それが出来る環境と仲間にきっと出会えると思います。お待ちしています。

○科学技術・学術政策局人材政策課（経済）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 自身の過去の経験から、誰もが生きがいを持って生活できる社会を作りたいと考えるようになりました。そのうえで、誰もが主体的に未来を選択し、いくつになっても将来の選択肢を広げることができる環境を整えていくためには、「教育」のアプローチが欠かせないと感じ、文部科学省への入省を決めました。

２． 他省庁や民間企業の様子が分からないので何とも言えませんが、比較的明るい職場だと思います。やはり日本の未来を考える省ということもあって前向きな人が多く、仕事中でも積極的にコミュニケーションを取りながら進めていくのでやりやすいです。

３． 志望動機とも重なりますが、誰もが主体的に未来を選択できる社会を実現したいと考えています。学ぶことが目的となっている教育スタイルから脱し、自分の夢や目標に合わせた学び方ができるような教育を作り上げてみせます。

４． ここで何かを成し遂げたいという強い思いがあるなら、文部科学省でできることはたくさんあると思います。不安なこともたくさんあるかと思いますが、自分の気持ちにとことん向き合って、後悔のしない選択をしてください。応援しています。

○研究振興局振興企画課
（化学・生物・薬学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．自分が大学院の研究室で過ごした経験から、研究者を志した人の手助けがしたいと考えていました。文部科学省は研究者の支援を様々な側面から行っていることから、自分が志したことを仕事としてできる職場を探したときに最適と考え選びました。

２．振興企画課は筆頭課ということもあって、業務としては慌ただしいこともありますが、職場の雰囲気はアットホームで穏やかな方しかいません。失敗してもフォローしていただける頼れる上司の方ばかりなので、失敗を恐れず挑戦していける職場だと感じています。

３．文部科学省を選んだ理由にも記載した通り、研究者を志した方を助けたいと思い、この職場を選びました。もともと自分が研究者になるか迷い、将来を考えて、就職を選んだこともあることから、いつか研究者という職業が、将来に不安を抱かないようなものにしたいと考えています。

４．自分がなぜ文部科学省で働きたいかということが試験や面接、そして入省後に大切になるとこれまでの経験で感じました(入省してからまだ1年もたっていませんが（笑））。
まずはその部分をしっかりと突き詰めることが文部科学省を目指す上での第一歩になると思います。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！！

○研究振興局振興企画課学術企画室（教養）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 音楽家、科学者、公務員と多様な夢を抱いてきた私は、一人一人に多様な人生の選択肢を与える教育の重要性と、芸術家や研究者の環境改善の必要性を感じ、教育・文化・科学技術の全てに携われる文部科学省を志望しました。

２． 省内には、（教育を司る省であるが故か）若手をみんなで育てようという意識があると感じます。1年目の今は分からないことだらけですが、政策内容から仕事のコツまで、日々色々と教わって成長できるのが嬉しいです。

３． 一人一人、不安なく自分らしい人生選択ができる社会にしたいです。研究者や芸術家といった各職種のキャリアプランの安定化と同時に、各自の得意分野が社会にどう生かせるか学べる教育体系の構築が必要だと考えています。

４． 皆さんが努力していることが何であれ、文部科学省が所掌する学び・科学技術・文化・スポーツのどれかに関わることだと思います。実体験に基づく課題意識は一番の原動力になるので、目の前のことに思う存分打ち込んでください。

○研究振興局参事官（情報担当）付（工学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１． 社会に貢献するために、いかに自分の持っているものを活かすことができるか、を考えた結果、文部科学省に辿り着きました。教育に関しては、教員経験があること。科学技術に関しては大学院で研究をしていたこと。この二つの経験を活かしたいと思いました。

２． 官庁訪問の職員の雰囲気と変わらず、和気あいあいと仕事をしています。日々案件が目まぐるしく動いていくので、学んでいかなければいけないことが多く、日々勉強です。わからないことがあったら相談に乗ってくれるので助かります。

３． 教育・科学技術などは、様々な課題がありますが、目先のことにとらわれることなく、長期的視野を持った施策を立案したいと思います。周りの声に耳を傾けながら、自分の信念を持って職務に邁進していきたいです。

４． 官庁訪問では、様々な省庁とで悩むかと思いますが、直感を大切にしてください。私自身、昔から憧れていた、というわけではなく、ふとした気持ちで文部科学省に行きました。面接してくださった皆さんの人柄で決めましたが、振り返ると良い選択をしたと思います。

○研究振興局参事官（ナノテクノロジー・物質・材料担当）付（農業科学・水産）

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．将来の社会像を考えるとき、科学技術というのは欠くことのできない重要なファクターだと思います。そんな科学技術を分野横断的に幅広く見ることができ、また政策的に支援していくことができる文部科学省に魅力を感じました。

２．科学技術関係の部署では、どの技術をどう支援し、どうやって社会につなげていくかといったことや、各分野の研究者を広く支援するためにどういった研究基盤が必要か考えるような前向きな仕事が多く、明るい雰囲気だと感じています。

３．本気で研究者になろうと思って大学に進学する学生が増え、博士号を取るのが当たり前になっているような環境を実現したいです。

４．文部科学省には国の研究所や大学、企業から出向してきている研究者の方も多く、そうした方々と一緒に仕事をしたり、研究の話を聞いたりすることができるので、科学が好きな人にはとても充実した環境だと思います。

○研究開発局　地震・防災研究課
（工学（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．科学技術・教育の双方に関わることができるため、文部科学省を選びました。大きな科学技術のプロジェクトほど、目的を果たすためにとても長い時間がかかります。科学技術の進展には、その長いタイムスケールを支える人材育成も重要なのです。

２．とても緊張感があるとまでは言いませんが、皆それぞれ真剣に業務をこなしています。他の省庁や民間企業から来られる方が大部分を占めているため、異なる知見の共有は非常に勉強になります。

３．“世界平和“が私の実現したい夢です。世界平和の実現は我々人類の究極的な目標であり、ほぼ全ての人がそれを実現するために日々を送っていることでしょう。その中でも文部科学省は科学技術や教育の政策を通して、将来の平和構築に貢献できる省庁であると考えています。

４．文部科学省の所掌業務は教育、科学技術、文化、スポーツと、どんな人にも親しみある分野ばかりです。そのため皆さんがこれまでに経験してきたことは、必ず文部科学省の行政で活きるはずです。そのアイデアを大事に、是非とも文部科学省の門を叩いてみてください。

○研究開発局原子力課
（農業科学・水産（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．これまで生命科学の勉強を大学でしてきており、基礎研究・応用研究の積み重ねがヒトや動物の命を救うための技術や創薬の礎となっていることを肌で感じてきました。したがって、それらを支えるための基盤づくりやイノベーションの推進をすることで昨今低迷しつつある日本の科学技術の発展に資することができればと思い、志望いたしました。

２．基本的に業務量が多く、忙しいので皆熱心に業務をこなしていますが、その中でも時には笑い声や雑談が飛びかり、活気があると思います。また、上司や先輩などは親身になって相談にのってくれたり、わからないことを聞いた際にも熱心に教えてくださるので、人間関係には非常に恵まれていると感じています。

３．志望動機とも被るところがありますが、基礎研究、応用研究の推進の中でもとくに、ライフサイエンス分野（がん研究や、創薬分野）に興味があり、それらを政策的に推進することで、病気で苦しむ人々を救うための基盤づくりに貢献できればと考えています。

４．何か自身が興味のある分野への熱い思い、また、広く文部科学行政において挑戦したいこと、成し遂げたいことを持ち、目指すとよいと思います。
とはいうものの、その思いをぶつける面接の機会は官庁訪問時なので、まずは何よりも一次試験・二次試験の突破のための勉強を頑張ってください。応援しています。

○スポーツ庁健康スポーツ課（経済）

１．文部科学省を選んだ理由　　２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと　４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．一人でも多くの人の生きがいを生み出していきたいと思い、文部科学省を目指しました。
より多くの人に夢とチャンスを与えることのできる仕事ができる場所でなら、夢中になって働けると考えました。

２．積極的に考え、行動することが好まれる雰囲気なので、自分も「頑張りたい！」と日々、思える雰囲気です。
スポーツ庁は、幹部との距離も近く、貴重なお話を聞くことができ、勉強させていただいています。
（スポーツ庁らしく、勤務後にスポーツすることもありますよ！）

３．誰もが生きることが「楽しい」と思えるきっかけを作り続けていきたいです。
先端の科学技術にワクワクして、多様な芸術に感動して、体を動かす喜びを知って、何より新しいことを知ること、学ぶことが楽しいと思える時間に寄り添えるように、考え続けていきたいです。

４．様々なことを経験し考えた時間が、価値を持つ職場です。
挫折した経験や悩んだ時間は、より多くの方の思いに寄り添える経験なのだと実感しています。
ぜひ一緒に、誰かの生きがいに寄り添い、熱く考えていきましょう。

○スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）付（行政（院卒））

1．文部科学省を選んだ理由
2．職場の雰囲気
3．文部科学省で実現したいこと
4．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．私はずっと公立の学校で育ってきたが、特に小学校や中学校には様々な家庭環境の生徒がいました。
勉強や部活動など、生徒全員が自分の置かれた環境に関係なく何かに打ち込める場としての学校に関わりたいと考えました。

２．ビジネスを扱う部署ということもあり、民間企業との関わりが多く、スポーツについての議論が非常に活発です。
民間企業から出向で来ている職員も多く、様々な角度からスポーツを見ることができ、自由な雰囲気があります。

３．勉強、スポーツ、芸術など、誰もが何かに打ち込める環境を作りたいと考えます。教育や技術的指導の幅が広がっているため、トップのレベルを更に上げると同時に、今後少子化などが進みやりたいことができなくなる人をなくしたいと思います。

４．学校教育は日本国民であればほぼ全員が受けているため、全員が何か意見を持っています。
そうした意見を肌で感じる機会が文部科学省には多く存在すると思いますので、誰のために仕事をしているか意識して仕事ができると思います。

○文化庁文化資源活用課（政治・国際）

１．文部科学省を選んだ理由
２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと
４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．現代社会にある課題は様々な人や国に跨る複雑なものとなってきています。このような中、地球規模で活躍することができる人づくりに関わり、我が国が国際社会で主体的な役割を担える国づくりをしていきたいと考え文部科学省に入省しました。

２．職場にいるのは、国家公務員試験を受験した人だけではありません。専門的な知識を持った調査官や地方公共団体から研修という形で来られている方等様々な人がおり、日々、自分の知らないことを学ばせてもらえる風土があります。

３．我が国が国際社会で主体的な役割を担える国づくりをしたいと考えています。そのため実現したいことは、多様なバックグラウンドを持った人と協働していくことができるような人材育成の制度を作ることや、日本の魅力を国外に発信し日本に対する理解を更に進めていくことです。

４．選んだ道をやり通すのは折れそうな心との格闘です。
しかし、自分の突き進みたい道が明確に磨ききれていれば、どれだけ苦しい状況になっても踏ん張れるのではないかと思います。
自分の目指すものを実現するために走り抜いてください。

○文化庁参事官(芸術文化担当）付（経済）

１．文部科学省を選んだ理由
２．職場の雰囲気
３．文部科学省で実現したいこと
４．文部科学省を目指す方へのメッセージ

１．「幸せ」の在り方は十人十色ですが、教育は自分なりの「幸せ」を定義するための鍵となります。教育を扱う文部科学省で、私たちに身近な４分野における個人の選択肢を広げることで、多様な「幸せ」を実現するための土台を作るお手伝いをしたいと思いました。

２．子供の未来を考える仕事柄、未来志向で前向きに物事を考える方、家庭を大切にされている方が多いと感じます。
上下関係や職場のルールに縛られず自分次第で働き方を変えられる場所だと思います。

３．教育の担い手がどんどん多様化している中で、教育を受ける側も、より自由に自分に合った教育を選択できる社会になればいいと思います。そのために、幅広い角度で教育環境を整えていくことのできる文部科学省で自分にできることを、今は模索中です。

４．行政の仕事は、未来を主体的に創る一員として、答えのない問と向き合いながら人々の「幸せ」を追求していくものです。携わるどの分野においても自分事として、その未来を考えることができる文部科学省で、一緒に未来を思い描き議論することができれば嬉しいです。